

December
2024.12.8
Vol.139

看護部だより12月号

ことり新聞



伊藤 看護部長 

2024年もあと1ヶ月となりました。早いですね～って毎年言っています・・(*' ω' *)

今年度の目標であった10月からの回りハへの転換が、皆様の協力のもと実現できつつあることに改めてチーム力を感じ頼もしい限りです。まだこれから新たな挑戦がつつきます。今後も千里中央病院のチーム力を発揮し乗り越えていきましょう！！

そして来年は・・日本が直面している「2025年問題」に突入です。団塊の世代が75歳以上となり、高齢化により増大する医療需要に対応するために 地域医療構想として病床の機能分化・連携が進められてきました。

これから85歳以上の高齢者の増加や人口減少がさらに進む2040年頃、さらにその先を見据え、入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携を含む、地域医療構想が必要になってきます。地域での千里中央病院の役割・存在意義を考え、地域社会に貢献できる病院でありたいと思います。



12月 研 修 ・ 行 事

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 11/25～5日 大阪医専実習 | ・ 13日 千里中央病院忘年会 |
| ～12日 大阪医療看護専門学校実習 | ・ 15日 法人卒後3年目「看護観発表会」 |
| 5日 法人アンガーマネジメント
法人意思決定支援 | ・ 20日 退院支援における看護師の役割 |
| 6日 法人新任主任「面接技術」 | ・ 21日 法人管理者労務人事のあり方 |
| 11日 認知症勉強会「事例検討会」 | |
| 12日 法人介護職「ハラスメント」 | |



～ 今年のクイズ ～

あるテーマについて偉人たちの名言を紹介しました。あるテーマとは何だと思われれますか？また、そのテーマで好きな名言があれば教えてください。

回答用紙に記入し部署単位で12月13日（金）12：00までに看護管理室までお持ちください。何か素敵なるものをプレゼントできるかもしれません。



キャリア形成支援研修—資格取得を身近に感じよう—

緩和ケア認定看護師 西5階看護師長



人生100年時代、看護職の皆さん職業人生はあと何年でしょう？


専門・認定看護師資格取得に興味のある看護師を対象に、看護師としてのキャリア形成支援を目的とした研修が開催されました。現在、法人内には専門看護師3名・認定看護師22名・診療看護師1名が在籍し、看護の質の向上のため日々活動を行っています。研修では専門・認定看護師を目指したきっかけや教育課程などが伝えられました。参加者からは「看護師として活躍する場が広がるのがわかった」「専門性を追求できるように頑張りたい」「子育てしながら受講している人もいて自分もできるかなと思った」などの感想がありました。看護師の道、ライフプランも価値観も人それぞれです。10年後の自分は…どんな風でしょう？考える機会になればいいと思います。

当法人は資格取得のバックアップ体制があります。是非、所属長や当院在籍の認定看護へ相談してみてください。



NSTの活動

東6階 摂食・嚥下障害認定看護師

 「食べることからその人らしさに繋がるケアができる！」と思い摂食・嚥下障害認定看護師の資格をとりました。

回復期リハビリ病棟では、嚥下機能が改善し食べられるようになると、1日のリズムが整い、表情が豊かになり、意思表示が増えると同時に、退院先の選択肢が増えるのを見てきました。

一般障害者病棟では、食べることを生きる楽しみにしていたり、「今日食べられた」ということが「明日も生きられる」という希望になる人もいと実感しています。また、食べられない人でも口腔ケアや栄養管理を行うことは誤嚥性肺炎などの身体的苦痛を減らす一助になっていると思います。

これからは各病棟のカンファレンスに参加して専門分野に関する提案を行ったり、相談を受けます。経口摂取に関わらず、摂食嚥下・口腔ケア・栄養管理に関して困っていることがあったら是非ご相談ください。

一緒に問題解決していきましょう！



10月 新規褥瘡発生 6人

(11月褥瘡予防対策委員会より)